

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和3年(2021)10月4日

10月号

URL: www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/



リスタート

校長 富田 操

ついに・・・やっと・・・緊急事態宣言が解除され、10月4日(月)より通常の登校が再開します。「必ず、また全員で会える日が来るから、その日を楽しみに待ちましょう。」と分散登校が始まった最初の朝会で子どもたちに言いました。

そして、その日がやってきました。まずは、みんなで顔を合わせることができると喜び合いたいと思います。そして、感染防止に引き続き十分注意を払いながら、これから可能な活動を再開していきます。とは言え、もちろん安心できる状況では決してありませんので、横浜市が示すガイドラインに則りながら慎重に進めてまいります。

題名の『リスタート』は、「通常の学校の状態に戻る」という意味でもありますが、もう一つ、「今年度の半分、前期が終わり、新たに後期が始まる」という意味での『リスタート』でもあります。

このような社会状況の中で、学校も闇の中を手探りで運営しているようなところもありますが、本来学校が目指していることを見失わず、再度しっかりとそこに目を向け、実行していきます。本校の学校目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』の実現に向けて、後期の教育活動の充実を目指します。

子どもたちには、このような状況であるからこそ、「自分で考える」ということを求めていかなければならないと思います。学習はもとより、生活においても「自分は何をしたいのか」「自分は何をすればよいのか」「自分にとって大事なこと・必要なことは何か」をしっかりと考えていく力を身につけてほしいと思います。

そして、そのように子どもたちが考えるようになる問いを、私たち教職員も発することができているかどうかを日々振り返らなければなりません。

また、これから宣言中よりは子ども同士で伝え合う活動の範囲も広がります。マスクをして距離を適切に保ちながら、言葉で自分の考えを友だちに伝えたり、文章を書いたり、図で示したり、絵を描いたりして「表現していく」場や時の設定を再度していきます。

また、できること・やれそうなことを恐れずに「挑戦し続ける」よう子どもたちを励まし、そして何より「挑戦したい」と思うことができるような壁やゴールを示していきます。

そのためには、私たち教職員自身が誰よりも「自分で考え、表現をし、挑戦をし続け」なければなりません。それが必ず実現すると安易に考えていませんが、そこに向かって全力で取り組みます。

お子様と千秀小学校の「リスタート」を、これまで同様、ご家庭や地域でご支援をいただければ幸いです。後期もよろしく願いいたします。